

あなたにできる救命処置

保健管理センター医師 鎌野 寛

1. AED (自動体外式除細動器) の使い方と心肺蘇生法を学びましょう

AEDとは、心臓が止まるような致命的な不整脈が起きた人に電気ショックを与え、心臓を正常な動きに戻す機器です。トレーニングを受ければ、どなたでもAEDを安全に使用することができます。香川大学各キャンパスにおいて、AEDを整備して緊急時に備えています。

◎倒れている人を見つけたときは次の手順で心肺蘇生を行い、AEDを使用しましょう。

- ①まず、意識があるかどうかの確認を行います。軽く肩をたたき「もしもし、大丈夫ですか?」と尋ねます。
- ②意識がない場合、周りの人を大声で呼んでください「誰か来ててください。人が倒れています。」
協力者に「あなた、意識がない人が倒れているので、**119番**に通報してください。」
「あなたは**AED**を持って戻ってきてください。」と頼んでください。



- ③気道確保を行います。

救助者は患者頭側の手を患者の額に当て、患者足側の2本の指で顎の先を持ち上げ顎部を伸ばします(頭部後屈顎先挙上)。

- ④救助者は患者の胸の動きを見て、口に耳を近づけ呼吸音を聞いて、息をほほで感じて、呼吸の有無について確認します。

「見て、聞いて、感じて、4、5、6、7、8、9、10」

- ⑤呼吸がない場合は**人工呼吸を2回**行います。

- ⑥続いて、**心臓マッサージを30回**行います。

心臓マッサージは胸の両乳首を結んだ直線の中心を1分間に100回の速度で押さえます。

AEDが届くまで**心臓マッサージ30回と人工呼吸2回**を繰り返します。



- ⑦1) AEDが届いたら、電源ボタンを押してONにします。

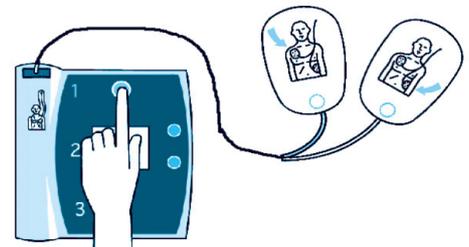
2) AEDの音声ガイダンスに従い2枚の電極パッドを袋から取り出し、患者の胸に貼り付けます。

3) 電極パッドのコネクターをAEDのソケットに差し込みます。

4) AEDが心電図を解析するので患者から離れます。

5) AEDが**「ショックが必要」**と判定した場合、除細動ボタンを押します。

6) 電気ショックの後もAEDの電源はONのまま、患者に電極パッドを貼ったままにしておきます。



- ⑧**心臓マッサージ30回、人工呼吸2回を5サイクル、再びAEDによる除細動**を救急隊が来るまで繰り返します。

注意する点は次の通りです。

(1) 一人が電極パッドを装着するときも、別の人は絶え間なく心臓マッサージを続けてください。

(2) AEDが『ショックの必要がない』と判定したときも、患者が、喋る、動き出す等の反応を示さない限り心臓マッサージを続けてください。

(3) 人工呼吸ができない場合は、心臓マッサージのみでも行ってください。

2. 学内から救急車を呼ぶとき

事故に遭遇したときは、あわてず状況を判断し、**重症の場合(意識がない、呼吸や脈が異常、出血が多い、全身が冷たい)**は直ちに救急車を呼びましょう。

●119番で救急車を呼ぶ時は、次のことを知せましょう

- 1) まず、「救急です。」と伝えてください。
- 2) 「**●●町の香川大学▲▲学部キャンパスの◆◆です。**」と住所と名前を言いましょう。
- 3) 「**誰がどのような状態なのか。**」状況を伝えましょう。